

3 ネットショッピングの落とし穴

教科書 P.187~189

学習目標

インターネットショッピングの特徴や注意点を理解する。



インターネットショッピングをするときは、何に気をつければいいのかな？

1. 契約の重要性

私たちは、毎日の生活の中でいろいろな契約をしています。携帯電話の利用は契約に基づいて行われていますし、実は、コンビニでおにぎりをかうのも、売買契約と呼ばれる契約です。契約の方法や内容に問題がなければ、一度成立した契約を、一方的にキャンセルすることはできません。慎重に考えて、責任をもって契約をすることが大切です。

2. インターネットショッピングや個人間取引の注意点

近年増加しているインターネットショッピングなどの電子商取引は、便利である反面、トラブルや犯罪も多くなっています。購入前にしっかり内容を確認してから、利用しましょう。

インターネット上で取引する相手は、お店である場合（インターネットショップ）と、消費者個人が販売者になっている場（インターネットオークションやフリーマーケットサービスなど。個人間取引と言います）があります。

図9-5 インターネットショッピングのトラブル事例

- ◆商品が届かない。
- ◆偽物（ニセ物）や注文と違うものが届いた。
- ◆商品写真や説明と違う。
- ◆販売者と連絡が取れなくなった。
- ◆1回限りの注文をしたつもりが、定期購入になっていた。



勝手に定期購入したことになる！

※事前に、信頼できるインターネットショップであるかを確認しましょう

図9-6 個人間取引のトラブル事例

- 【購入者側】… ◆商品説明と違う。
- ◆商品が届かない。
- 【出品者側】… ◆本物なのに、「偽物だ」と言われ、返金を要求される。
- ◆送ったのに、「届いていない」と言われ代金が支払われない。



代金を払ったのに、商品が届かない！

※事前に、サイトの運営主体のトラブル対応について確認しましょう

3. あやしいネットショップに注意！

インターネットショップでの買い物は、クーリング・オフ制度（→学習書P.138）の対象外です。購入前に、どのような点を確認すればよいか、見てみましょう。

図9-7 あやしいネットショップの例

URLが不自然。購入を希望しているサイトのURLと違ってている。

サイトのURLの前に、マークが付いていない。暗号化されていないので、個人情報やパスワードが盗まれるかも。

機械翻訳したような不自然な日本語。

極端な値引きがされている。

電話番号が携帯電話の番号だけ。または、書かれていない。

住所が番地まで書かれていない。

通常使用されない漢字（旧字体）がある。

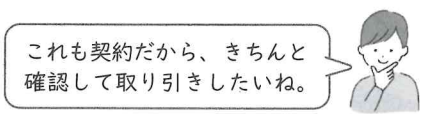
支払い方法が銀行振込だけ。

特定商取引法では、価格や送料、支払い方法、引き渡し時期、返品・交換のルール（返品特約）などをウェブサイト上に表示することが義務付けられています。右のようなJADMA（ジャドマ）マーク（日本通信販売協会会員マーク）があると、さらに安心ですね。また、自分のIDやパスワードを定期的に変更するなど、個人情報の管理も大切です。

図9-8 JADMA(ジャドマ)マーク



インターネットでの購入は便利だけど、気をつけるポイントがたくさんあるんだね。



これも契約だから、きちんと確認して取り引きしたいね。

確認テスト

インターネットショッピングの説明で、正しい文章の番号を答えましょう。

- (1) 便利な面もあるが、トラブルや犯罪も起こりやすい。
- (2) クーリング・オフ制度の対象外である。
- (3) 支払い方法や返品・交換のルールを表示することは、ショップの自由である。
- (4) JADMA(ジャドマ)マークは、通信販売を利用する際に、安心・信頼の目安となる。